

歩掛参考見積公募要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 8年 5月 15日

独立行政法人水資源機構
千葉用水総合管理所
所 長 土田 百合子
(公 印 省 略)

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、成田用水施設改築事業で予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1)水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2)営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3)水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、指定水系（利根川水系及び荒川水系、木曽川水系及び豊川水系、淀川水系、吉野川水系、筑後川水系）関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1)参考見積書は作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は別紙見積様式のとおりとして下さい。
- (2)提出期間：令和8年5月15日（金）から令和8年5月29日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(3)提出先

独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 所長 土田 百合子 宛

【担当】工事課 山本

〒282-0011

千葉県成田市三里塚字御料牧場 1-2

臨空開発第1センタービル8階

TEL0476-33-1036 FAX0476-33-1039

(4)提出方法

書面は持参、郵送又はFAXまたはメール（社印があること）により提出するものとします。
（社印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の明記により省略可能）

4. 参考見積内容

(1)工事の基本条件

- ① 本歩掛参考見積は、「プレストレストコンクリート円形水槽の緊張等」の費用について見積するものとします。
- ② 参考見積書の有効期間は令和9年3月31日までとします。
- ③ 参考見積書の提出年月日を記入するものとします。
- ④ 見積金額は、消費税及び地方消費税の額を含まない金額としてください。
- ⑤ 参考見積書に、消費税及び地方消費税が含まれていないことを記載してください。

(2)見積項目は次に示すとおりとします。

名称	規格	単位	参考 工事数量	適用
横締 PC ケーブル 工	アンボンド 950 k N 型(100T 型) 1S28.6	t	26.2	横締 PC ケーブルの組立・挿 入作業に適用
横締 PC ケーブル 緊張工歩掛	アンボンド 950 k N 型(100T 型) 1S28.6	箇所	292 (両引 き)	横締 PC ケーブルの定着部型 枠の製作・装置・撤去、定着 装置取付け、ポリエチレンシ ース除去及び PC 鋼材の清 掃、緊張作業及び定着部後処 理作業に適用
縦締 PC ケーブル 工	バーシステム $\phi 36$	箇所	252	縦締 PC 棒鋼の組立・挿入、 シース内へのグラウト材注入 作業に適用
縦締 PC ケーブル 緊張工	バーシステム $\phi 36$	箇所	252	定着装置取付け、緊張作業に 適用
縦締 PC ケーブル 固定工	バーシステム $\phi 36$	箇所	252	定着装置取付け作業に適用
バーシステム継手 工	バーシステム $\phi 36$	箇所	126	PC 鋼棒で継手を必要とする 際計上し、接続具(カップラ ー、カップラーシース)の材 料費及びその組立に適用
レイタンス処理工		m ²	118	底版コンクリートと側壁コン クリートの打継ぎ部分のレイ タンス除去に適用
鋼製型枠工		m ²	808	型枠及び付属品の損料と労務 費の合計額を適用
打継目防水工歩掛		m	885	側壁コンクリート打継目部分 の内側幅 20 cmの防水に適用
木コン跡処理工		箇所	4725	型枠作業に使用するセパレー タ用木コンの跡処理に適用
水張試験費		式	1	タンクからの漏水を確認する ために側壁等に対する外観検 査ならびに水位測定等に適用
清掃費		式	1	水張試験時にタンク内部をデ ッキブラシや水切りワイパー 等を用いて水洗いし、タンク 内を清掃するのに適用
技術管理費				
摩擦係数 測定試験費		回	1	横締ケーブルの摩擦係数の測 定で、本緊張作業開始前に適 用
緊張力計算費		回	1	各 PC ケーブルに必要な緊張 力が導入されるように、計算 書の検討に適用
緊張管理費 (両締)		ケー ブル	292	各 PC 鋼材に所定の緊張力を 与えられるように管理する費

				用であり、PC ケーブル毎に適用する。
--	--	--	--	---------------------

※なお、各作業に必要な足場は、設置されている前提で見積り願います。

(3) 工事費の構成と歩掛見積範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積依頼範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記(2)「見積項目」を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和 8 年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和 8 年 5 月 15 日（金）から令和 8 年 5 月 22 日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで
- (2) 提出場所：2. (3)に同じ。
- (3) 提出方法：2. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和 8 年 5 月 22 日（金）から令和 8 年 5 月 29 日（金）まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この歩掛参考見積を御提出頂いたことで工事の指名、若しくは競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

(別紙)

見積書作成例

横締PCケーブル工歩掛 (アンボンド工法)

950 k N型(100T型) 1S28.6

鋼材1t当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
普通作業員		人				
材料費						
PC鋼材		t	1.06			
アンボンド加算額		t	1.06			
切断加工費		t	1.06			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は横締PCケーブルの組立・挿入作業に適用する。

諸雑費は、PC鋼材組立筋、資材つり込み用クレーン運転費等に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

横締PCケーブル工歩掛 (アンボンド工法)

950 k N型(100T型) 1S28.6

緊張側1箇所当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
普通作業員		人				
材料費						
定着装置		組	1			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は横締PCケーブルの定着部型枠の製作・装置・撤去、定着装置取付け、ポリエチレンシース除去及びPC鋼材の清掃、緊張作業及び定着部後処理作業に適用する。

諸雑費は、定着部型枠用資材、グリッド筋、定着部跡埋め工に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

縦締PCケーブル工歩掛（バーシステム）

φ36

鋼材1t当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
普通作業員		人				
材料費						
PC鋼棒		t	1			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は縦締PC棒鋼の組立・挿入、シース内へのグラウト材注入作業に適用する。

諸雑費は、シース、シース組立筋、ビニールテープ、グラウト材、資材つり込み用クレーン運転費等に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

縦締PCケーブル緊張工歩掛

φ36

緊張側1箇所当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
普通作業員		人				
材料費						
定着装置		組	1			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は定着装置取付け、緊張作業に適用する。

諸雑費は、グリット筋、グラウトホース等に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

縦締PCケーブル固定工歩掛

φ36

固定側1箇所当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁特殊工		人				
材料費						
定着装置		組	1			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は定着装置取付け作業に適用する。

諸雑費は、グリット筋、グラウトホース、スペーサーブロック等に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

バーシステム継手工歩掛

φ36

1箇所当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
普通作業員		人				
材料費						
接続具		組	1			
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛はPC鋼棒で継手を必要とする際計上し、接続具(カップラー、カップラーシース)の材料費及びその組み立てに適用する。

諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

レイタンス処理工歩掛

1㎡当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
普通作業員		人				
材料費						
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は底版コンクリートと側壁コンクリートの打継ぎ部分のレイタンス除去に適用する。

側壁コンクリートとの打継ぎ面積を計上する。

鋼製型枠工歩掛

1㎡当り

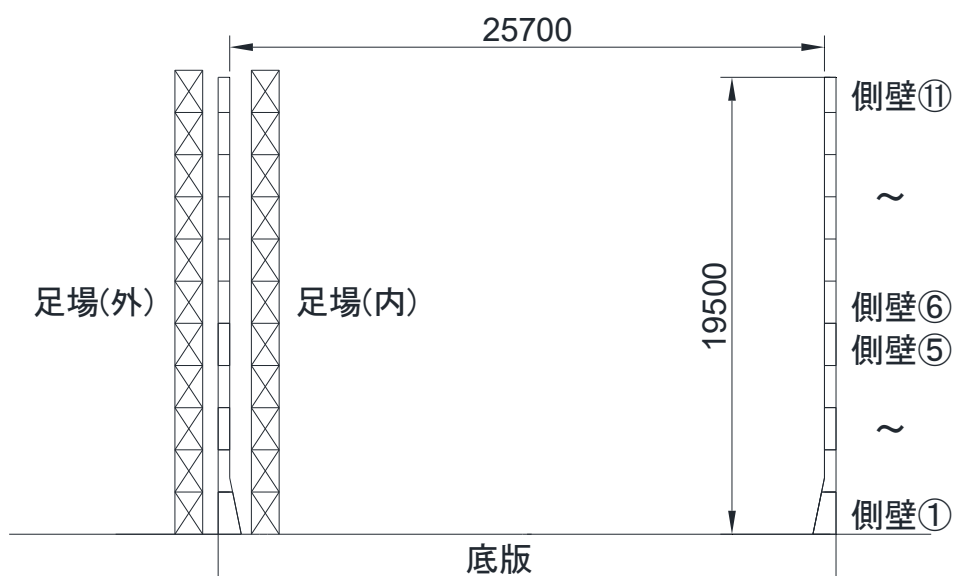
名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
土木一般世話役		人				
型枠工		人				
普通作業員		人				
材料費						
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

本歩掛は型枠及び付属品の損料と労務費の合計額を適用する。

諸雑費は、鋼製型枠、曲げ鋼管損料、型枠用資材、資材吊込み用クレーン運転費等に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

本水槽は、下図に示す通り、側壁は①～⑪のブロックに分割して打設する計画です。

1ブロックの高さは最大1.8mです。



打継目防水工歩掛

1m当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
防水工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

防水剤として通常塗布防水等が使用され、塗装回数は2回塗りとする。

防水幅は、20cmとする。

諸雑費は、防水材、工具等に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

木コン跡処理工歩掛

1箇所当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

諸雑費は、無収縮モルタル材・練り混ぜ労務、接着剤等に関する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

水張試験費

1式当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊工		人				
報告書		式	1			上記合計額の○%

タンクからの漏水を確認するために側壁等に対する外観検査ならびに水位測定等を行うのに要する費用である。

検査に必要な水は別途である。

清掃費

1式当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
土木一般世話役		人				
特殊作業員						
普通作業員		人				
材料費						
諸雑費		式	1			上記合計額の○%

水張試験時にタンク内部をデッキブラシや水切りワイパー等を用いて水洗いし、タンク内を清掃するのに要する費用である。

技術管理費

摩擦係数測定試験費

1式当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
橋梁世話役		人				
橋梁特殊鋼						
普通作業員		人				
報告書		式	1			上記合計額の○%

横締ケーブルの摩擦係数の測定で、本緊張作業開始前に1回行う。

1回あたり6ケーブルを目安とする。

緊張力計算費

1回当り

名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
技師C		人				

各PCケーブルに必要な緊張力が導入されるように、計算書の検討を行うのに要する費用である。

緊張力計算費は一構造形式について1回とし、同一現場においてケーブル配置（形式）が異なるものがある場合はその形式数分の回数を計上する。

緊張管理費（両締）

1ケーブル当り

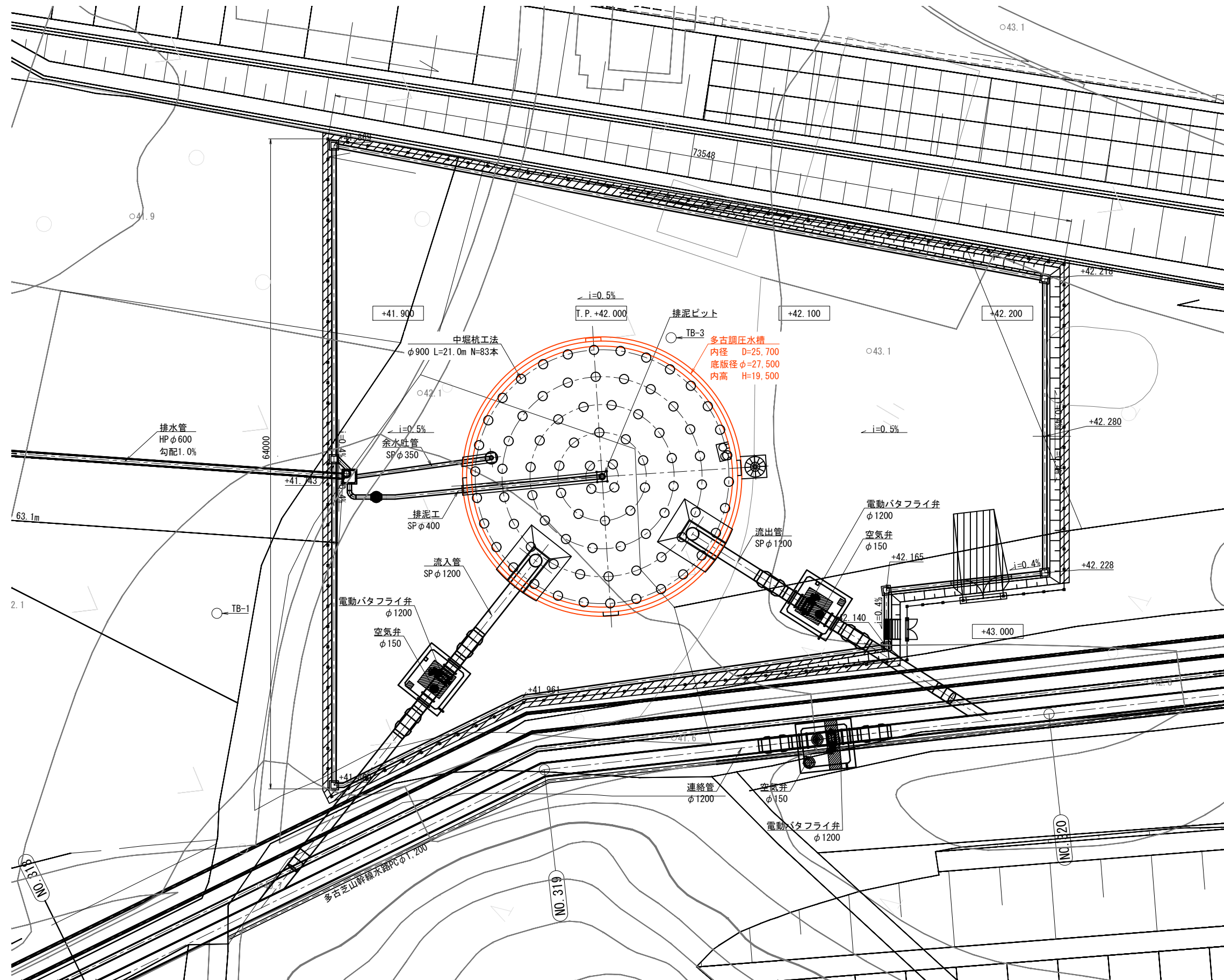
名称	規格	員数	員数	単価	金額	適用
労務費						
技師C		人				
報告書		式	1			上記合計額の○%

各PC鋼材に所定の緊張力を与えられるように管理する費用であり、PCケーブル毎に計上する。

参 考 图

計画平面図

S=1:200



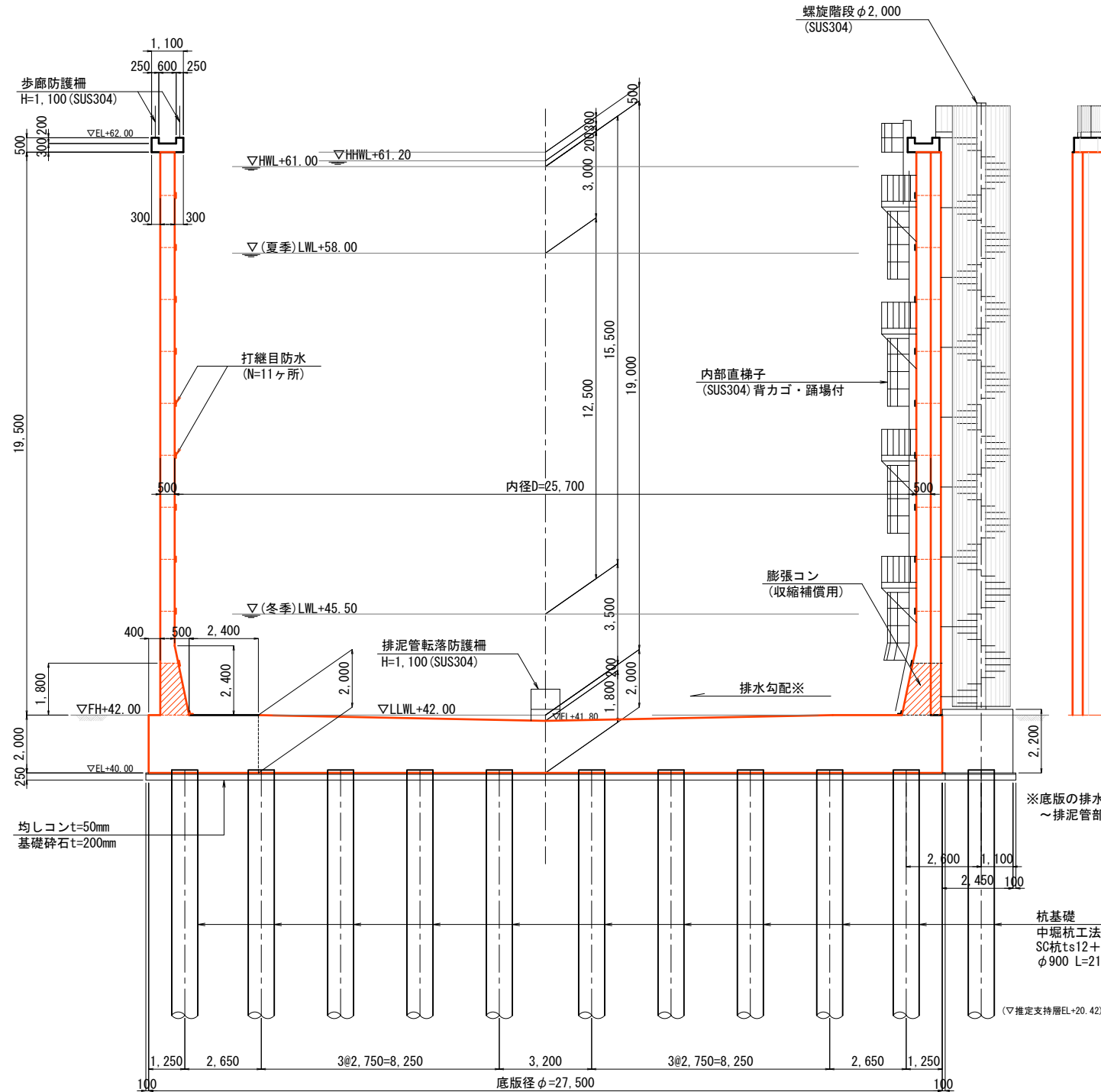
工事名	
名称 計画平面図	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所	

構造一般図(1)

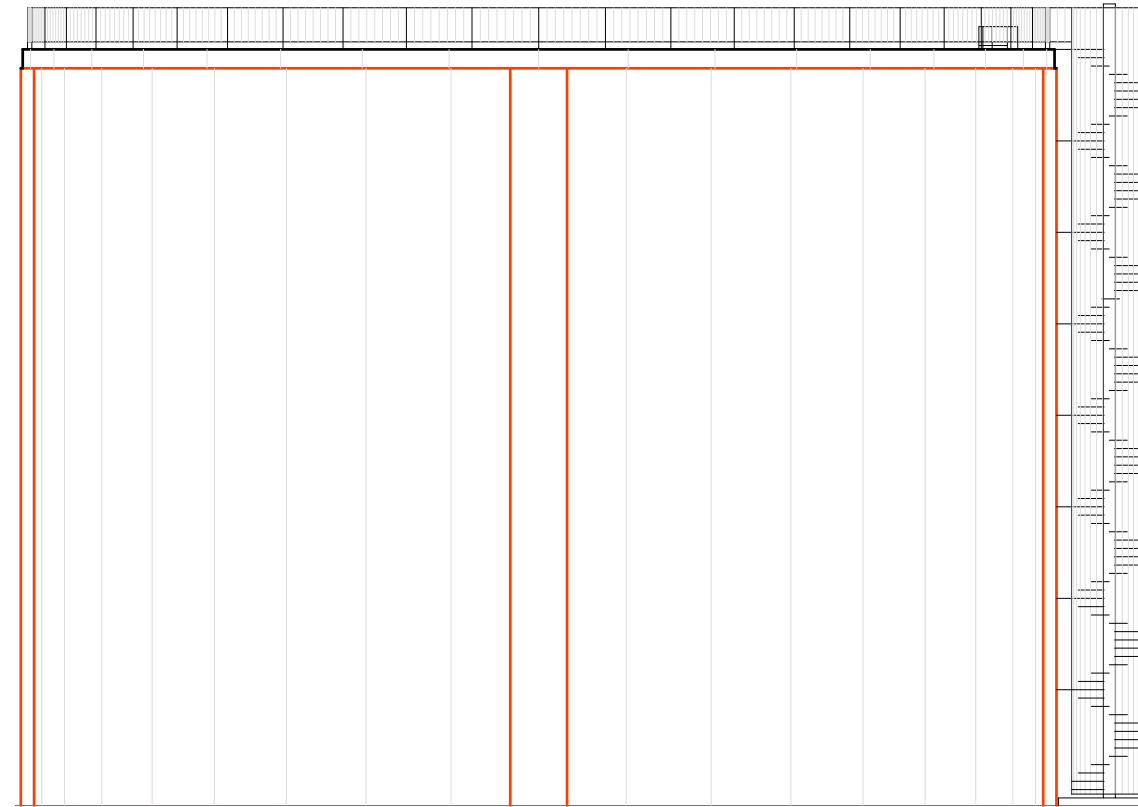
S=1:100

断面図

※成田空港に近接する施設となるため、航空制限に留意すること。施工重機も含めるものとする。
 施工時(滑走路延伸前)の航空制限: +86.00 (FHからの地上高さ=44m)
 完成時(滑走路延伸後)の航空制限: +79.00 (FHからの地上高さ=37m)



立面図



※底版の排水勾配は、部材厚を変化させる(リングプレート端部=2000mm ~ 排水管部=1800mm) ことによって設けるものとする。

杭基礎
 中堀杭工法
 SC杭 ts12+PHC杭A種+PHC杭A種
 φ900 L=21.0m N=83本

(▽推定支持層EL+20.42)

〈設計条件〉必要容量 $V_n = 8,000 \text{ m}^3$

内径 D (m)	25.700
全水深 H (m)	19.200
有効水深 H_e (m)	(夏季) 3.000
	(冬季) 15.500
計算水深 H_t (m)	19.000
壁厚 t (m)	0.500
有効容量 V_e (m ³)	8,040
全容量 V (m ³)	9,800

設置方式: 地上式
 基礎形式: 杭基礎(中堀杭工法)

コンクリートの設計基準強度	
歩廊	21N-12-25 (20)
側壁	36N-12-25 (20)
底版	30N-12-25 (20)
外部階段基礎	30N-12-25 (20)
配管保護コン	21N-12-25 (20)
均しコンクリート	18N-12-25 (20)

※側壁1段目は膨張コンクリート(収縮補償用)とする。

鉄筋規格	
D13~D32	SD345
PC鋼材規格	
横締	SWPR19L 1S28.6 (アンボンド)
縦締	SBPR930/1080 φ36 (B種1号)

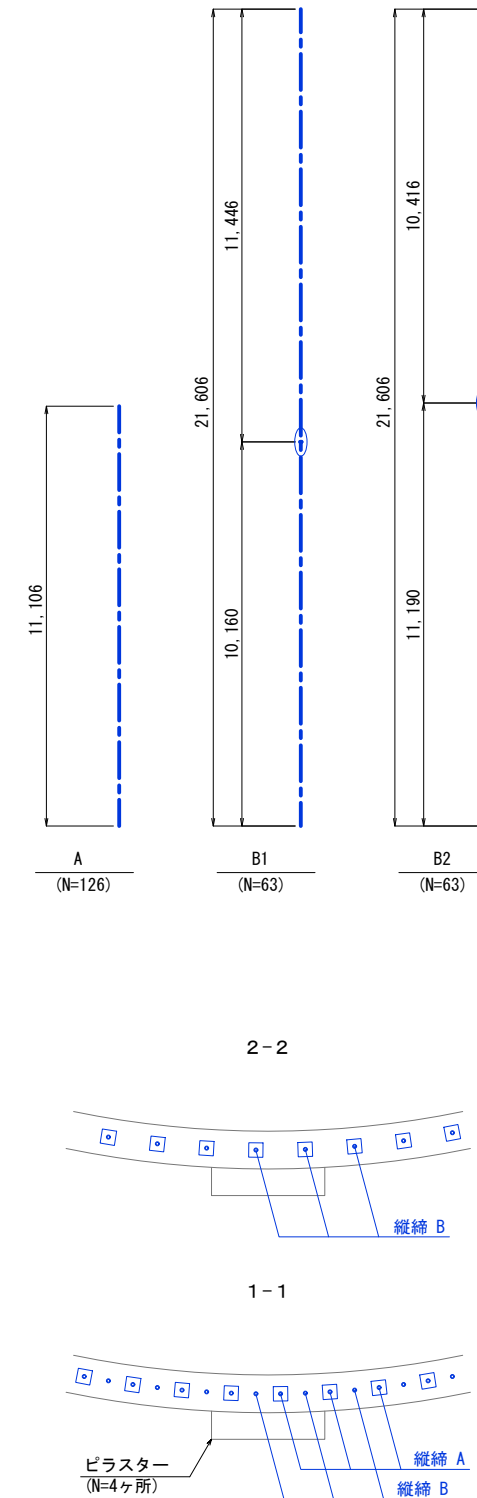
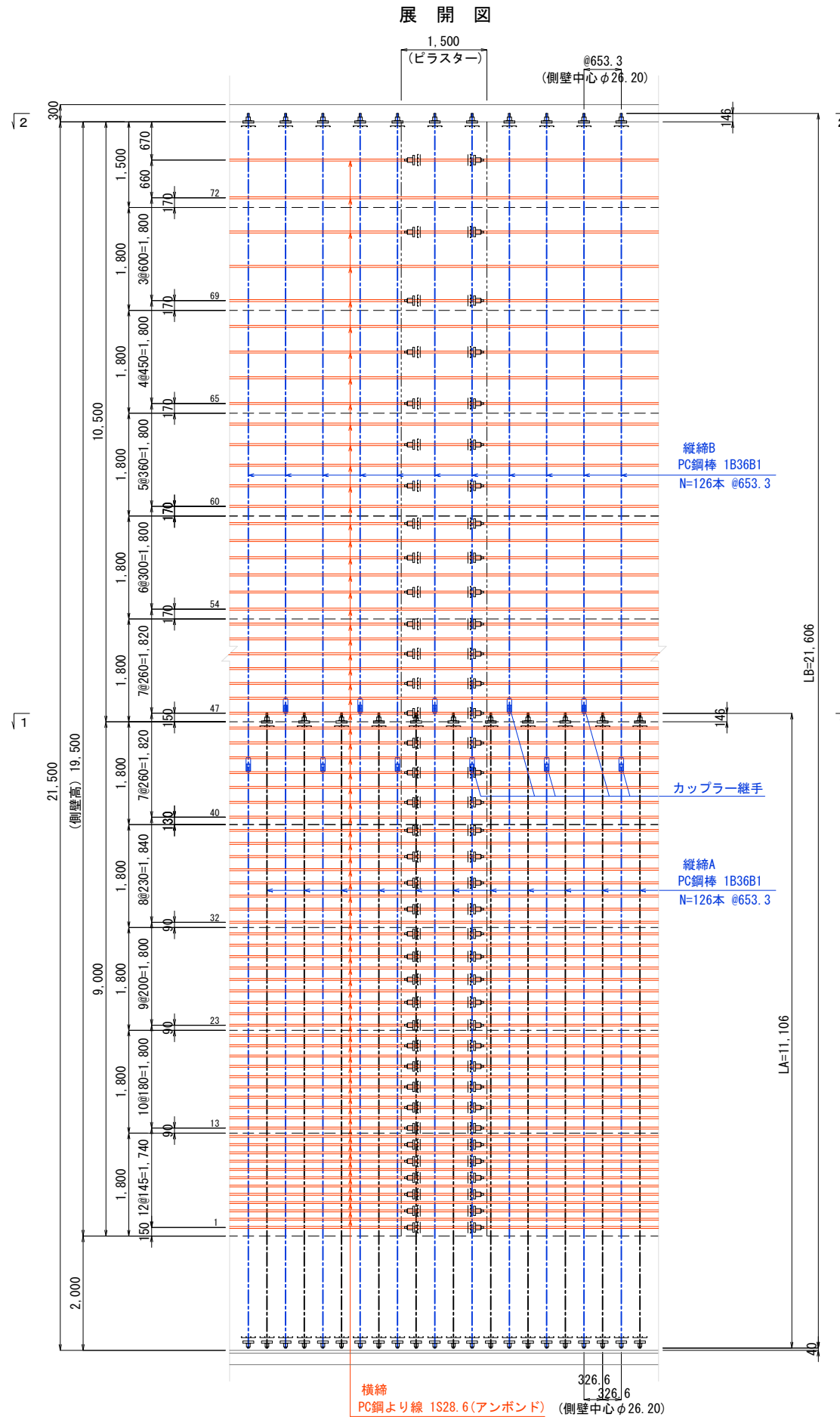
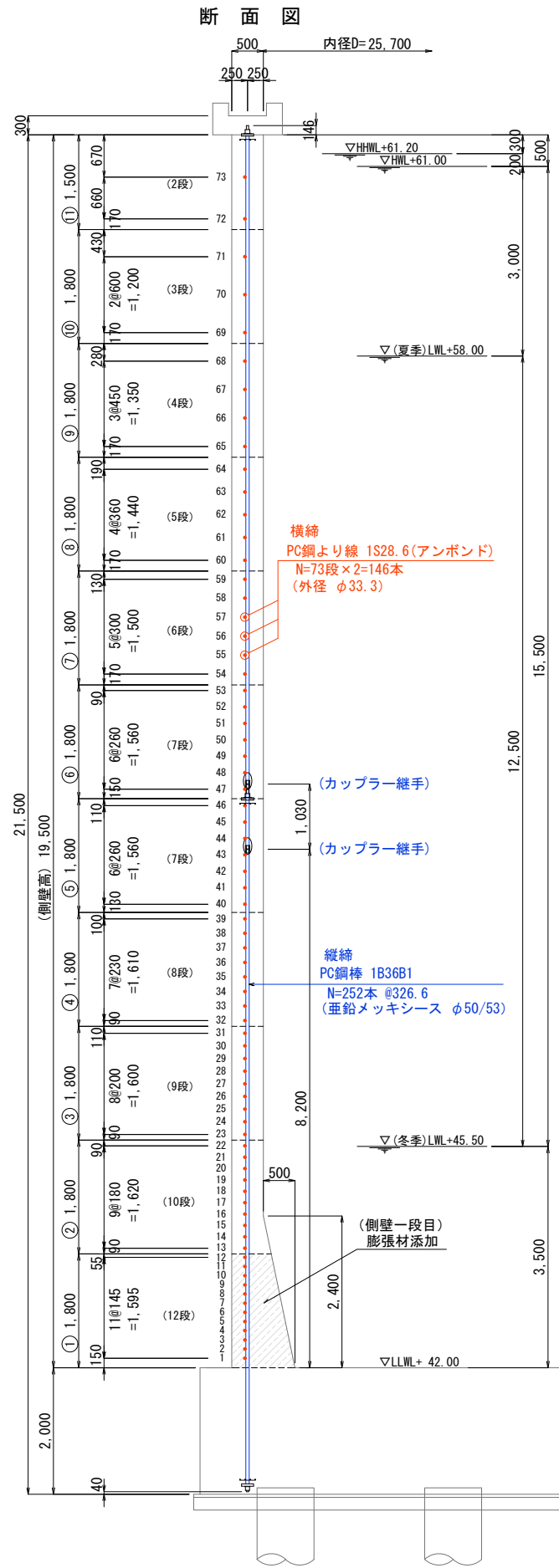
工事名	
名称 構造一般図(1)	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所	

調整水槽構造配筋図(3)

PC鋼材配置図 S=1:50

PC鋼材配置図(1)

縦締PC鋼棒組合せ図 S=1:100
(PC鋼棒 1B36B1)

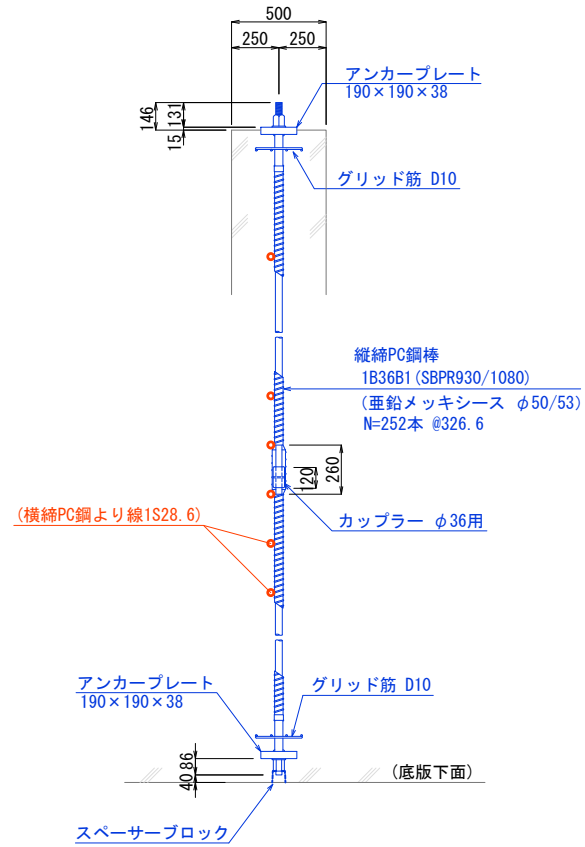


工事名	
名称 調整水槽構造配筋図(3)	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所	

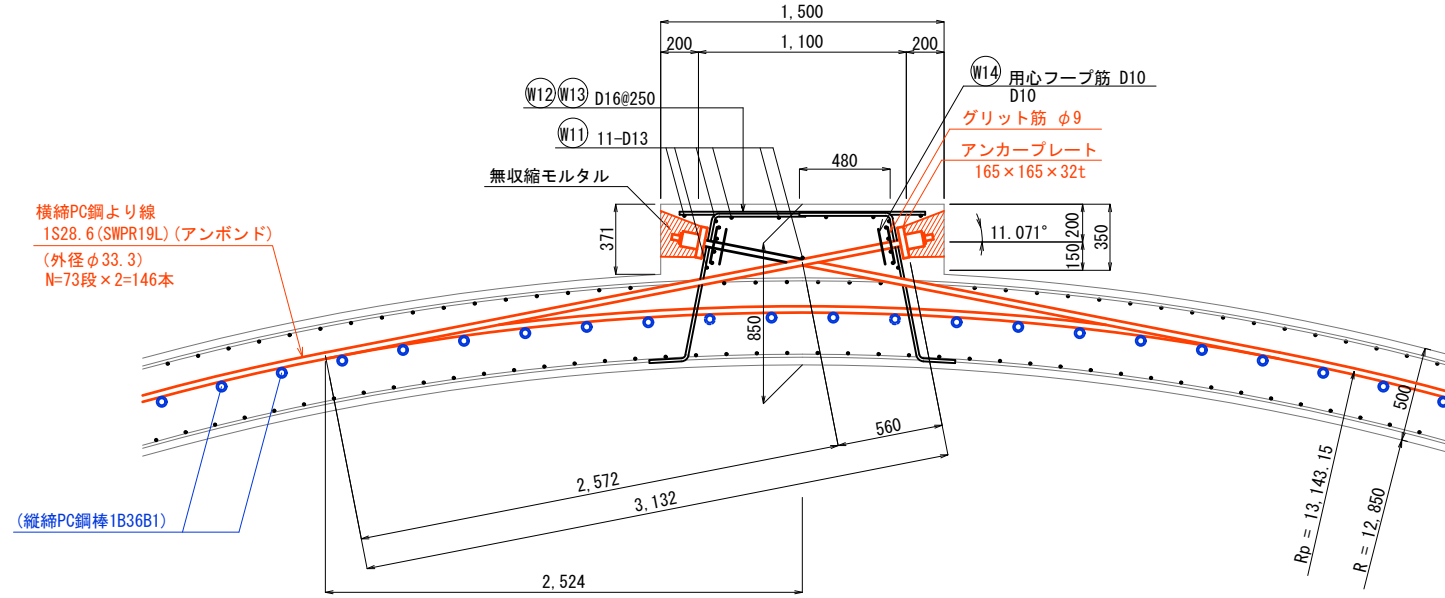
調整水槽構造配筋図(4)

PC鋼材配置図(2)

縦締PC鋼棒詳細図 S=1:20
(PC鋼棒 1B36B1)



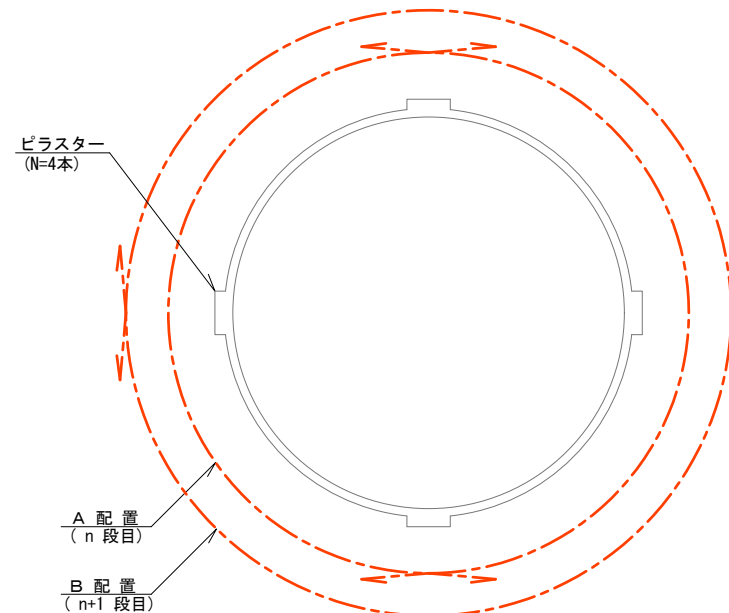
横締定着部詳細図 S=1:20
(ピラスター)



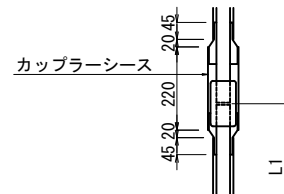
注) 鉄筋がPC鋼材や定着具等に干渉する場合は、鉄筋量が不足しない範囲で鉄筋を移動させること。

PCストランド平面配置図

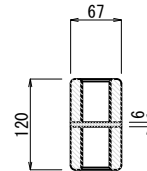
側壁部PCストランドは、A・B交互に配置する。
(1S28.6) N=73段×2=146本



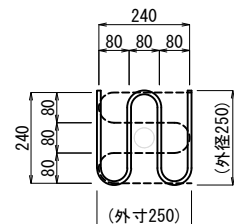
カプラーシース詳細図 (φ36用) S=1:10



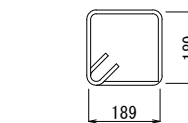
カプラー詳細図 (φ36用) S=1:5



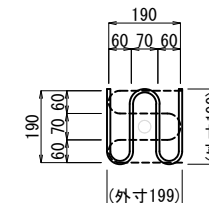
グリッド筋詳細図 S=1:10
グリッド筋 D10



補強筋詳細図 S=1:10
W14 用心フープ筋 D10



グリッド筋詳細図 S=1:10
グリッド筋 φ9



工事名	
名称 調整水槽構造配筋図(4)	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所	